

教育要覧

2010

富山県教育委員会

教育要覧（2010）目次

I 教育行政

第1節 教育計画

平成22年度県教育委員会重点施策・・・1

第2節 教育行政一般

- 1 富山県教育委員会・・・32
- 2 県教育委員会行政機構・・・35
- 3 県教育事務所・・・37
- 4 市町村教育委員会・・・37

第3節 教育財政

平成22年度当初予算の概況・・・38

第4節 表彰

- 1 叙勲・・・39
- 2 県教育委員会表彰・・・39
- 3 県表彰・・・41
- 4 中央表彰・・・41

第5節 広報広聴活動・・・44

第6節 奨学事業・・・45

II 学校教育

第1節 学校教育概況

- 1 概況・・・47
- 2 幼稚園教育・・・47
- 3 小学校・中学校教育・・・48
- 4 高等学校教育・・・49
- 5 特別支援教育・・・54
- 6 へき地教育・・・60

第2節 学校教育指導

- 1 指導組織・体制・・・61
- 2 教育指導力の向上・・・62
- 3 教科用図書採択・・・65

第3節 教育課程の展開

- 1 教育課程・・・67
- 2 進路指導・生徒指導・
交通安全指導・・・73
- 3 学校図書館教育・・・77

第4節 教職員

- 1 教職員数・・・78
- 2 学級編制基準・・・78
- 3 職員団体・・・79
- 4 福利厚生・・・80

第5節 保健・体育と学校給食

- 1 学校保健・安全・・・91
- 2 学校給食・・・97
- 3 学校体育・・・100

第6節 学校施設設備・・・103

（公立学校施設の状況）

第7節 教育に関する調査研究等・・・107

（平成21年度富山県総合教育センター事業実績）

Ⅲ 社会教育

第1節 生涯学習

富山県民生涯学習カレッジ

- 1 講座……………113
- 2 生涯学習情報の提供……………125
- 3 学習活動の奨励・援助……………126
- 4 視聴覚教育……………127

第2節 青少年教育

- 1 少年教育……………133
- 2 青年教育……………134

第3節 成人教育

- 1 公民館講座及び成人大学講座…136
- 2 女性教育……………137
- 3 P T A……………140
- 4 家庭教育……………140
- 5 高齢者教育……………143

第4節 社会教育施設

- 1 富山県立図書館……………144
- 2 富山県青少年自然の家……………149
- 3 富山県立山荘……………155
- 4 公民館……………157
- 5 富山県埋蔵文化財センター…160

第5節 文化活動と文化財

- 1 児童・生徒の文化活動……………162
- 2 文化財保存事業……………163

(美術鉄砲刀剣類登録件数含む)

第6節 生涯スポーツ

- 1 指導者の養成と研修……………168
- 2 スポーツ活動……………169
- 3 社会体育施設……………171
- 4 学校体育施設の開放……………174

資料編

- 1 教育委員会一覧……………175
(市町村教育委員会)

2 人名録

- (1) 県教育委員会……………177
- (2) 県生涯学習審議会委員……………179
- (3) 県文化財保護審議会委員……………179
- (4) 県スポーツ振興審議会委員……………180
- (5) 県教職員健康審査会委員……………180
- (6) 県議会教育警務委員会委員……………181
- (7) 歴代教育委員長、教育委員、
教育長、教育次長 ……181
- (8) 関係団体等……………185

3 博物館・文化財関係

- (1) 博物館一覧……………188
- (2) 県内所在文化財指定件数一覧
……………192
- (3) 市町村別国・県指定文化財一覧
……………194

4 調査統計

- (1) 学校基本調査付帯調査……………203
- (2) 進路希望状況調査……………215
- (3) 発育状況……………216
- (4) 新体力テスト集計結果……………217
- (5) 生徒指導上の諸問題の現状……………221

[参考] 教育委員会事務局機構変遷図…222

I

教 育 行 政

第 1 節 教育計画

平成 22 年度富山県教育委員会重点施策

～富山スタンダードの推進～

富山県教育委員会は、

- 人間の生き方を考える **優れた知性**の育成
- 自然と芸術・文化に親しむ **豊かな心**の育成
- 風雪に耐えて生きぬく **たくましい体**の育成

を富山県教育の基本目標に掲げ、児童生徒が、学校教育を通じ、友人と切磋琢磨するなかで豊かな人間性と個性や能力を伸ばし、将来にわたってたくましく生きる力を身につけること、また、県民誰もが一人ひとりの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じた学習や文化・スポーツ活動に親しむことを目指す。

平成 22 年度においては、本県の優れた教育を引き継ぎながら、富山ならではの質の高い教育を行っていくための特色ある取組みや環境整備を、いわば「富山スタンダード」として推進し、家庭、学校、地域等が一体となって質の高い教育を創りあげる。

具体的な施策については、

- 1 教員の定数改善や小学校専科教員の配置の拡充など **少人数教育の充実**
- 2 とやま型学力向上総合支援、いじめ・不登校等対策の拡充やいのちの教育の推進、みんなでチャレンジ 3015 事業などによる **知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成**
- 3 新学科の設置の検討など **県立学校教育振興計画の着実な推進**と再編 5 校の実習棟の建築、県立学校の老朽化対策などの **教育環境の整備**
- 4 親学びプログラムの拡充や基本的生活習慣の確立に向けた取組み、公民館を中心とした自然体験活動など **家庭や地域の教育力を高め、活かす教育の推進**
- 5 郷土の自然、歴史や文化、先人の業績や志に対する理解を深め、ふるさとに対する誇りや愛着を育む **「ふるさと教育」の推進**
- 6 **全国スポーツ・レクリエーション祭の開催**及び **トップアスリートの育成**を目指した **競技力向上対策**

などに重点を置き、諸施策を講じることとしている。

また、新学習指導要領への対応や県立高校授業料無償化の実施など国の施策への的確な対応を図ることとしている。

これらの施策の実施に当たっては、市町村教育委員会をはじめ、関係機関、諸団体等と協力しながら、学校・家庭・地域の相互の連携のもとに、実効性のある総合的な教育行政の推進に努めるものとする。

<平成 22 年度 政策体系別重点施策>

I 家庭や地域における健やかな子どもの育成

政策目標： 子どもたちが、家族や地域の人々との触れ合いのなかで、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、精神的に自立した若者に成長していくこと。

1 家庭における健やかな成長の促進（家庭の教育力の向上）

子どもの成長を支える最も基本である家庭機能の向上を図る。

そのために、親が自信を持って子育てを行い、子どもに社会的マナーや善悪の判断力、思いやりの心などをはぐくむよう、親の学びの普及に努めるとともに、親子のふれあいや体験活動への支援、望ましい生活習慣づくりについての啓発を推進する。

(1) 親の学びの支援

・ 親を学び伝える家庭教育推進事業

・ とやま親学び支援事業

子育てに不安や悩みをもつ親を支援するため、親の役割や家庭教育について学ぶ「親を学び伝える学習プログラム（親学びプログラム）」の普及・啓発講座を、教育関係団体（幼・保）等との連携により開催する。

・ 家庭教育推進企業連携事業

経済団体等と連携して、企業に対し家庭教育の推進を啓発、支援する。

・ 親学びプログラム拡充事業（22年度新規）

より時代にあうよう事例を追加し、親学びプログラムを 20 事例から 28 事例に拡充する。

・ 親学びに関する指導者養成講座（22年度新規）

時代に即した親学び支援に関する講座を開催し、親学びプログラムの指導者や家庭教育アドバイザー等の養成及び資質の向上を図る。

・ 家庭教育総合相談事業

家庭教育カウンセリング、子育てほっとライン（電話相談）、インターネットを活用した子育て情報バンク「子育てネッ！とやま」など総合的な相談体制を推進する。

・ 家庭教育かわら版事業

・ しつけや望ましい生活習慣、親子のふれあいなどの家庭教育に関する情報紙「ほっとタイムス」を年 3 回発行し、幼稚園・保育園児から小学校 2 年生までの保護者等に配布する。

・ 子育て中の親子と子育て経験者との交流会を開催する。（22年度新規）

（生涯学習・文化財室）

(2) 親子のふれあいや体験活動への支援

・ 子どもの読書活動推進事業

・ 家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進するため、「子

どもと本の講座」を開催するとともに、とやま元気ワールド絵本ランドの開催を支援する。

・乳幼児健診等で読み聞かせ絵本リストを配布するとともに、親子で読み聞かせを楽しむ機会を提供する。(22年度新規)

・ **公民館子ども自然体験事業 (22年度新規)**

公民館を中心に、親の参加や参画を促しながら、子どもたちが身近なふるさとのすばらしい自然を、四季を通して体験する活動を推進する。

(生涯学習・文化財室)

(3) **望ましい生活習慣の定着**

・ **とやまっ子生活習慣推進事業 (22年度新規)**

中学校区ごとに課題を設定し、学校、家庭、地域が連携して、基本的な生活習慣の確立に向けた取組みを実施する。(生涯学習・文化財室)

・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業**

早寝早起きや、朝ご飯をしっかりと食べるなどの望ましい生活習慣を身に付けさせ、心身の健康の保持・増進を図る。(スポーツ・保健課)

2 地域での豊かな心の育成 (地域の教育力の充実)

地域の子どもの地域で育てる意識の向上を図り、地域において魅力ある子どもの居場所を確保するとともに、子どもが地域の人々とふれあい、豊かで美しい自然を体験するなど、子どもたちの心の豊かさや社会性をはぐくむ多様な活動を促進する。

(1) **放課後の子どもの居場所づくりの推進**

・ **放課後子ども教室推進事業**

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を推進する。(生涯学習・文化財室)

(2) **地域に学ぶ活動の推進**

・ **公民館子ども自然体験事業 (22年度新規)**

公民館を中心に、親の参加や参画を促しながら、子どもたちが身近なふるさとのすばらしい自然を、四季を通して体験する活動を推進する。

・ **高校生あったかハートスキルアップ研修会事業**

保育・老人介護等のボランティア体験を通して、高校生の地域社会への参画意識を醸成する。

・ **子どもとやま県議会事業**

子どもたちの代表40人が県議会議事堂において、身近で学んだことや体験したことを題材に、将来の富山県や日本、世界について、感性あふれる意見や夢のある提言を発表する。

・ **富山県公民館ふるさと教育推進事業 (22年度新規)**

公民館を中心に、地域の団体や図書館、博物館などが連携し、ふるさとのすばらしい自然・歴史・伝統・文化などを、楽しく体験したり学んだりする活動を推進する。
(生涯学習・文化財室)

(3) 青少年教育施設の運営

- ・ 青少年自然の家運営事業

自然環境の中での集団生活を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、呉羽青少自然の家及び砺波青少年自然の家を運営する。

- ・ 立山荘運営事業

県内小学校等による集団立山登山や観光客の宿泊・休憩施設として立山荘を運営する。
(生涯学習・文化財室)

II 学校教育の充実

[義務教育等の充実]

政策目標： 小・中学校では、生涯にわたる人間形成の基本と将来の自立に必要な力を培い、個性と創造性を伸ばす教育が行われていること。

1 富山の教育の継承と創造

教育熱心な県民性、優れた教育実践、豊かな自然や文化に恵まれた教育環境などの特性を活かした富山の伝統ある教育力の継承とその発展・創造を図るため、教育振興方策の検討、学校運営改善、教育資源の活用等を推進する。

(1) 学校運営の改善

[富山県教育の振興]

- ・ 教育タウンミーティング開催事業

家庭、学校、地域、企業等が一体となって、県民総ぐるみで教育の充実に取り組む気運を高めるため、教育タウンミーティングを開催する。

(教育企画課)

- ・ 明日のとやま教育創造基金の活用

基金の活用により、教育活動の充実、教員の資質向上その他の学校教育の発展に関する施策を推進する。

(県立学校課)

[学校運営の改善]

- ・ とやま型学校評価システムの推進

小・中学校の教育活動についての的確に評価を行い、その結果を公表する「とやま型学校評価システム」を全公立小中学校において実施する。併せて、学校評議員制度の導入促進を図る。

(小中学校課)

- ・ 学校パワーアップ推進会議

教員が子どもと向き合いやすい環境を整え、学校教育の質の維持向上、教

職員の職務能率の向上と健康増進を図り、もって、学校の組織力を高めるために、「とやま学校パワーアップ方針 2010」に基づき、「学校パワーアップ推進会議」において、学校における事務改善策等の検討及び点検を行う。

(教職員課)

(2) 富山の教育資源の活用

[ふるさと教育の推進]

富山の歴史や先人の業績を学び、郷土への愛着と誇り、感動や感謝の心をはぐくむとともに、様々な体験活動によりたくましく豊かな心を育てる。

- ・ 社会科や道徳の時間における郷土の偉人や歴史、産業に関する学習活動
- ・ 総合的な学習の時間や特別活動における伝統文化の伝承活動等
- ・ 生き方を学ぶふるさと読本作成事業（22年度新規）

ふるさと富山を支えた人々の功績等を紹介する冊子を作成する。

(小中学校課)

- ・ ふるさと教育推進事業（22年度新規）

ふるさと教育の意義や必要性について普及・啓発を図るためのフォーラムの開催や団体等への表彰などを行う。

(教育企画課)

[優れた教育手法の継承]

- ・ 教師の学び支援塾事業

教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウについて、研修等を通じて若手教員に伝承する。

(県立学校課)

[県内教育研究団体との連携]

- ・ 県内各種教育研究団体等への活動助成

(県立学校課)

2 確かな学力の育成

教職員定数の改善、中1・35人学級選択制の実施など少人数教育の拡充、「とやま型学力向上プログラム」の推進、教員の授業力向上対策等により、知識・技能を活用する力やコミュニケーション能力を含めた確かな学力を育成する。また、小学校外国語活動など、新たな学習指導要領への対応を着実に進める。

(1) 教職員定数の改善

教職員定数を増加し、少人数教育の充実や特別支援教育の充実等に取り組む。

(教職員課)

(2) 少人数教育の推進

児童生徒へのきめ細かな学習指導や生活指導を行うため、少人数学級や少人数指導による少人数教育を推進する。

- ・ 小学校1年生及び2年生での35人以下学級の実施

小学校低学年において、子どもたちが基本的な生活習慣や基礎的な学習態度を身に付けられる、きめ細かな指導を行える環境を整備する。

- ・ 小学校3～6年生で35人を超える学級に教員や非常勤講師を配置し少人数指導を実施
- ・ 小学校専科教員等配置事業
理科・音楽等の専科教育の一層の充実を図るため、専科教員の増員と新たに3・4年生への指導のための週2時間の拡充を行うほか、発達障害のある児童生徒への対応を支援する教員等を配置する。
- ・ 中1・35人学級選択制導入事業
中学校1年生において、学校の実情により少人数（35人以下）学級又は少人数指導を弾力的に選択できる中1・35人学級選択制を引き続き実施するほか、対象校の授業時数増に対応するため、非常勤講師を配置する。
- ・ 中1学級支援事業
いじめ、不登校が急増する中学1年生の学校生活への適応支援を行うため、中1学級支援講師を配置する。

（教職員課）

(3) 学力の定着と向上

[児童生徒の学力向上対策と新学習指導要領への対応]

- ・ とやま型学力向上総合支援事業（小・中学校）
 - ・ 全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、学校改善、授業改善に有効に活用するための体制を整備する。
 - ・ 単元確認問題の活用や全市町村小中学校に実践拠点校を指定するなど、「とやま型学力向上プログラム」を充実、定着させることにより、本県の学力向上を図る。

（小中学校課）
- ・ とやま科学オリンピック開催準備（小・中・高等学校）
子どもたちの科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能を見出して伸ばすことを目的とした「とやま科学オリンピック」の開催に向け、調査検討及びプレ大会を実施する。

（教育企画課）
- ・ 理科支援員等配置事業（小学校）
小学校5、6年生の実験等理科の内容充実を図るため、大学(院)生など地域の人材を理科支援員として小学校に配置する。
- ・ 小学校外国語活動指導力向上研修事業
小学校高学年における外国語活動の必修化に向け、教員の研修や英語ノートの活用事例集の作成を行う。

（小中学校課）
- ・ 小学校外国語活動協力員配置事業（学校支援事業）
小学校外国語活動の教材作成や発音指導補助ができる協力員を配置する。
- ・ 学習環境整備支援員配置事業（学校支援事業）
新学習指導要領に対応した理数教育等の充実を図るため、教材作成等を行う支援員を配置する。

（教職員課）
- ・ 基礎的な学力の定着
県内全ての小・中学生が共通の問題に取り組む「漢字・計算チャレンジテスト」や「中学生レッツチャレンジ」の実施、個に応じたきめ細かな指導の充実、朝学習や夏休み中の学習相談の実施等の取組みを行う。

- ・ **新学習指導要領対応のための小中連携実践研究事業（22年度新規）**
新学習指導要領の円滑な実施を図るため、小中連携による実践研究を行う。
(小中学校課)
- ・ **子どもの読書活動推進事業**
家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進するため、「子どもと本の講座」を開催するとともに、とやま元気ワールド・絵本ランドの開催を支援する。
(生涯学習・文化財室)

[教員の授業力向上対策]

- ・ **教師の学び支援塾事業**
教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウについて、研修等を通じて若手教員に伝承する。
(県立学校課)
- ・ **小学校外国語活動指導力向上研修事業**
小学校高学年における外国語活動の必修化に向け、教員の研修や英語ノート
の活用事例集の作成を行う。
- ・ **小中学校授業力向上対策事業**
小・中学校教員の授業力向上のための研究活動を支援する。
- ・ **学びのアシスト推進事業（小学校）**
富山大学と連携し、教員志望大学生を学習補助者として小学校に派遣し、児童の学習意欲の向上やきめ細かな学習に対応し、学力向上を推進する。
(小中学校課)

(4) 情報化・国際化への対応

[情報化への対応]

- ・ 「とやまマルチネット」を活用した教育の情報化の推進
県域高速回線網「とやまマルチネット」による、全県立学校に整備された校内LANやコンピュータ等のICT学習環境を活用して、教科指導において学力の向上を図るとともに、情報化に対応した新しい資質の育成に向けた情報教育を進めるなど、ICTを活用した教育を充実する。(県立学校課)
- ・ **情報教育に関する研究や研修等の充実**
インターネットやICT環境を活かす教員のICT活用指導力の向上に向けた教育研究及び研修を充実する。
 - ・ 小・中・高等学校及び特別支援学校を交えた教育情報データベースの活用
 - ・ インターネットやICTを活用した授業方法に関する教育研究
 - ・ 情報活用の実践力や情報モラル等情報社会に参画する態度を育てる情報教育に関する教育研究とこれらの実践的指導力を育てる研修
(教育企画課)
- ・ **ICT支援員配置事業（学校支援事業）**
インターネットやコンピュータ等ICT学習環境を活用した授業等を円滑に行うための支援員を配置する。(教職員課)

[国際化への対応]

- ・ **外国人児童生徒に対する日本語指導や生活適応指導等の充実**
「外国人児童生徒教育の手引」等の作成、市町村外国人児童生徒就学担当者研修会の開催、外国人児童生徒の多い学校への外国人相談員の配置などを行う。
(教職員課、小中学校課)
- ・ **外国人児童生徒適応支援員配置事業（学校支援事業）**
外国人児童生徒の学習や生活の援助を行う支援員を配置する。(教職員課)

3 健やかな心と体の育成

子どもの心と体の健やかな育成のため、悩み等への相談体制の充実や教員の相談能力の向上を図るとともに、児童生徒の規範意識や社会性を高める体験活動や運動習慣の定着を図る取り組みを進める。

特に、いじめ・不登校等の問題については、その未然防止と早期対応のため、相談体制の一層の充実、家庭や地域との連携強化に取り組む。

(1) 児童生徒指導の充実、いじめ・不登校等への対応

[いじめ総合対策事業 ーいじめ問題への総合的な対策の実施]

- ・ **小学校へのスクールカウンセラー配置**
小学校（20校）にスクールカウンセラーを配置し、教員、児童生徒、保護者等からの相談に対応する。
- ・ **中学校へのスクールカウンセラー配置**
県内全公立中学校 81校にスクールカウンセラーを配置する。そのうち 31校には「カウンセリング指導員」も配置する。
- ・ **教育事務所管理カウンセラーの配置**
教育事務所に臨床心理士等の専門家を配置し、スクールカウンセラー未配置校など、支援が必要な学校への一定期間の派遣や困難事例の指導を実施する。
- ・ **スクールソーシャルワーカーの派遣**
教育と福祉の両面に関して専門的な知識・技術を有する社会福祉士等の専門家を全市町村に派遣し、問題を抱える児童生徒の家庭環境等の改善を支援する。
- ・ **ネットパトロール事業（22年度新規）**
ネット監視員を総合教育センターに常駐させ、年間を通じてネットパトロールを実施する。
- ・ **24時間相談電話（いじめ等）の設置**
児童生徒や保護者の電話相談に常時対応するため、総合教育センターに24時間対応の「いじめ相談電話」を設置する。
- ・ **いのちの教育総合支援事業（22年度新規）**
いのちの先生の派遣、いのちの教育講演会の開催及びいのちのメッセージカードの配付等を通して、学校と家庭が一体となった、いのちの教育の推進を支援する。

- ・ **思いやり活動支援事業（22年度新規）**

中学校におけるいじめの撲滅に向けた生徒会活動などを支援する。

（小中学校課）

[指導・相談体制の充実]

- ・ **生徒育成サポート事業**

- ・ 「児童生徒育成支援会議」の開催

- ・ 学校リスクマネジメントに係る弁護士の派遣

- ・ **問題を抱える子ども等の自立支援事業**

不登校やひきこもり等児童の問題行動に対応するため、訪問指導員を県総合教育センターに配置し、市町村の適応指導教室や自立支援教室の設置等を支援する。

- ・ **子どもと親の相談員の配置**

県内16小学校に、児童や親が気軽に相談できる「子どもと親の相談員」を配置する。

（小中学校課）

- ・ **生活指導主事の配置**

各教育事務所にいじめや不登校等の問題に専門的に対応する生活指導主事を配置する。

（教育企画課、教職員課）

- ・ **心のサポーター派遣事業（小・中学校）**

富山大学と連携し、教員志望の大学生及び心理系の大学院生を、児童生徒の話し相手や悩みなどの相談相手をする「心のサポーター」として派遣する。

（小中学校課）

- ・ **子どもほっとライン事業**

電話や電子メールにより子どもたちの悩みや質問に応える相談活動を行う。

（生涯学習・文化財室）

- ・ **児童生徒の自己指導能力の育成**

児童生徒がやり遂げた喜びや学ぶ喜びを味わえる学習活動の展開、役割分担を明確にしながら組織的・計画的に対応できる生徒指導の推進等により、社会の変化に主体的に対応できる自己指導能力を育成する。

（小中学校課）

- ・ **人権教育の推進**

人類普遍の原理である自由・平等の原則と日本国憲法及び教育基本法の本質にのっとり、社会の中に根強く残っている不合理な差別をなくし、基本的人権を尊重する精神の涵養と実践力の高揚を図る。

このため、人権教育に関する研修を充実するとともに、啓発資料を作成、配布し、人権尊重についての認識をさらに深めるよう努める。

（生涯学習・文化財室）

(2) **社会への対応**

- ・ **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業（県内全公立中学校81校）**

中学校2年生が、地域で連続5日間の職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組むことにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、たくましく生きる力を身につけることを目指す。

- ・ **児童生徒が主体的に進める活動への支援**

福祉・ボランティア活動や職場体験活動、児童生徒自身の問題を解決する

ための生徒会活動、学級活動等に対し、家庭や地域の教育力も活用しながら支援する。

- ・ **社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などはぐくみ**

学校の教育活動全体を通して、児童生徒に社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの豊かな人間性をはぐくみ、自由と規律がバランスよく身に付くよう努める。

(小中学校課)

(3) 体験学習の推進

[ふるさと学習や地域交流の推進]

- ・ **郷土に対する理解や愛着心のはぐくみ**

社会科や道徳の時間における郷土の偉人や歴史、産業に関する学習活動、総合的な学習の時間や特別活動における伝統文化の伝承活動等を促進する。

(小中学校課)

- ・ **日本海ゆめ航海**

小・中学生の親子などを対象として実習船「雄山丸」での体験航海を実施する。

(県立学校課)

[芸術・文化に親しむ心の育成]

- ・ **学校巡回劇場（小・中学校）**

小・中学生の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操をはぐくむ。

- ・ **中学校文化連盟等の支援**

中学校文化連盟の活動を支援するとともに、吹奏楽の技術向上を目的としてプロの演奏家による実技指導事業を実施する。

- ・ **文化活動の成果の全国への紹介と県外生との交流促進**

全国コンクール等の出場者への支援を行う。

- ・ **「ふるさと文学」を通して観る情景作品の募集（中・高等学校）**

(生涯学習・文化財室)

- ・ **芸術・文化・科学等の様々な分野で優れた成果を収めた児童生徒の顕彰**

(教育企画課)

(4) 児童生徒の健康づくり

[運動好きでたくましい子どもの育成]

- ・ **体力づくりノート作成（みんなでチャレンジ 3015）事業**

幼児期からの体力向上を図るプログラムに基づいた新しい体力づくりノート（小学生対象）を作成し、小学校で配布する。

- ・ **地域スポーツ人材の活用実践支援事業**

専門的で高い技術指導力を持つ地域のスポーツ人材を、小学校の体育の授業補助として派遣する。

- ・ **基礎体力や運動技能の向上を図るとともに、運動の楽しさや喜びを味わえる体育・スポーツ活動を推進する。**

(スポーツ・保健課)

[運動部活動の振興]

- ・ **スポーツエキスパート派遣事業（中・高等学校）**

学校の運動部活動へスポーツエキスパート(地域の優れたスポーツ指導者)

を派遣する。

- ・ **生徒数の減少や完全学校週5日制への対応**
複数校による合同運動部活動の実施など、生徒のスポーツニーズに応えた運動部活動を推進する。

(スポーツ・保健課)

[望ましい生活習慣の定着]

- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業**
 - ・ 早寝早起きや、朝ご飯をしっかりと食べるなどの望ましい生活習慣を身に付けさせ、心身の健康の保持・増進を図る。
 - ・ 健康づくりノート（とやまゲンキッズ作戦）を活用した保健指導や専門医と連携した健康管理の充実を図る。
 - ・ 栄養教諭等による食に関する指導を実施する。これらを学校・家庭・地域の連携により推進する。

(スポーツ・保健課)

- ・ **栄養教諭の配置の拡充** (教職員課)
- ・ **とやまっ子生活習慣推進事業（22年度新規）**
中学校区ごとに課題を設定し、学校、家庭、地域が連携して、基本的な生活習慣の確立に向けた取組みを実施する。

(生涯学習・文化財室)

[健康教育の推進]

- ・ **学校での健康教育等の推進と家庭における健康づくりの支援**
児童生徒の健康診断結果等を分析し生活習慣病等の予防対策を実施する。
また、健康な生活習慣づくり、歯科保健、近視予防、性感染症予防、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等について、実践活動の研究や啓発普及を行う。

(スポーツ・保健課)

4 特別支援教育の充実

発達障害を含めた障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うとともに、県立学校教育振興計画基本計画に基づく改革に取り組む。

(1) 特別支援教育改革の推進

[県立学校教育振興計画の推進]

- ・ **県立学校教育振興計画推進費**
県立学校の教育振興を図るための「県立学校教育振興計画 基本計画」に基づき、学校の望ましい規模と配置など、生徒の学習環境の整備等を着実に推進するための必要な施策を実施する。また、高等特別支援学校開設に向けた検討を行う。
- ・ **県立学校教育改革推進事業**
すべての県立学校において中長期ビジョンを策定し、科学教育、ものづくり教育、キャリア教育など生徒や学校の実態等に応じた実効性のある取り組

みを推進する。

(県立学校課)

(2) 障害のある子どもの教育の充実と支援体制の整備

・ 富山県特別支援教育総合推進事業（22年度新規）

幼・小・中・高・特別支援学校に在籍する障害により特別な支援を必要とするすべての子どもに対し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うため、特別支援教育の体制整備を総合的に推進する。

併せて、高等学校における発達障害のある生徒への支援の在り方について実践的研究を行う。

・ 富山型デイサービス・特別支援学校連携事業

特別支援学校（知的障害、肢体不自由）と、特別支援学校在籍児童生徒が利用している富山型デイサービス及び関係部局が連携を深めることにより、特別支援学校在籍児童生徒の共通理解を図り、「個別の教育支援計画」の作成や余暇活動、進路指導の充実を図る。

・ 特別支援学校インターンシップ推進事業

特別支援学校高等部生徒の職業的な自立のために、職場や就業体験先企業の開拓、実習における職場適応等の支援、就職後のアフターケアの実施等を推進する。

・ 特別支援学校医療的ケア体制整備事業

日常的に「医療的ケア」を必要とする児童生徒が多数在籍する特別支援学校へ看護師を配置し、児童生徒が健康で安全に学校教育を受けることができる環境を整備する。

・ スタディ・メイトサポート事業

小・中学校等に在籍する発達障害を含めた障害のある幼児児童生徒を支援するため、スタディ・メイト（特別支援教育支援員）を特別支援学校において養成する。

また、スタディ・メイトコーディネーターを配置し、スタディ・メイト配置校を巡回指導するとともに連絡協議会や研修会を開催し市町村を支援する。

併せて、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる小・中学校等への訪問相談を実施し、発達障害を含めた障害のある幼児児童生徒の教育の充実を図る。

・ スタディ・メイトジュニア(学生支援員)の派遣（小学校）

富山大学の教員志望大学生を活用し、発達障害を含めた障害のある児童を支援し、教育の充実を図る。

・ 特別支援学校就労支援事業（22年度新規）

コーディネーターの配置により、就労体験や就職受入企業の拡大等を推進する。

・ 特別支援学校通学運営費

特別支援学校に通学する児童生徒の安全確保や遠距離通学に伴う負担軽減、保護者の送迎に対する負担軽減を図る。（通学バスを2台更新）

(県立学校課)

(3) 共生・共育の推進

- ・ **特別支援学校ふれあい交流活動事業**

障害のある子どもと、障害のない子どもや地域の人々との交流及び共同学習を支援し障害のある子どもの経験を広げ社会性を豊かにする。

(県立学校課)

(4) **安全、安心、快適な教育環境の整備**

[**県立学校の整備推進**]

- ・ 特別支援学校の改築（富山聴覚総合支援）・改築に伴う実施設計（富山総合支援）、校舎等修繕、トイレ環境の改善、教育設備の整備などを進める。

(教育企画課)

5 県民みんなで育てる教育の推進

学校と家庭や地域、大学等が一体となり、全ての県民が協力して、地域の宝である子どもの健全な成長を支援する取り組みを促進する。

(1) **地域、大学等との連携の促進**

[**富山大学との連携による取り組み**]

- ・ **学びのアシスト推進事業（小学校）**

富山大学の教員志望大学生を活用し、児童の学習意欲の向上やきめ細かな学習に対応し、学力向上を推進する。

- ・ **理科支援員等配置事業（小学校）**

小学校5、6年生の実験等理科の内容充実を図るため、大学(院)生など地域の人材を理科支援員として小学校に配置する。

- ・ **心のサポーター派遣事業（小・中学校）**

教員志望の大学生及び心理系の大学院生を、児童生徒の話し相手や悩みなどの相談相手をする「心のサポーター」として派遣する。

(小中学校課)

- ・ **スタディ・メイトジュニア(学生支援員)の派遣（小学校）**

富山大学の教員志望大学生を活用し、発達障害を含めた障害のある児童を支援し、教育の充実を図る。

(県立学校課)

- ・ **教員相互の連携協力**

富山大学教員が県総合教育センターの客員教授等として、教員研修及び調査研究等に連携協力し、教員の資質向上と教育研究の一層の充実を図る。

一方、県教育委員会は、富山大学に教員を派遣し、教員志望の学生対象の教材研究等に関する講義に協力し、教員養成の充実を図る。

(教育企画課、県立学校課、小中学校課)

[**地域との連携による取り組み**]

- ・ **学校支援地域本部事業**

地域住民がボランティアとして学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部」を設置し、地域全体で学校教育を支える体制づくりを支援する。

- ・ **のびのび5歳児育み事業（22年度新規）**

子どもたちが幼稚園・保育所から、小学校へと円滑に接続できるようにするため、指導者の資質向上のための合同研修や、保護者、地域の方を対象にした子育て懇談会などを実施するなど、育ちを総合的に支援する。

(小中学校課)

- ・ **学びの体験オープンハイスクール事業**

中学校3年生が、各高等学校の教育内容の理解を深め、明確な目的意識を持って進学できるようにするための体験入学週間を設けるとともに、地域への授業公開を進めることで中高の円滑な接続、地域に信頼される学校づくりを推進する。

(県立学校課)

- ・ **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業（県内全公立中学校 81校）**

中学校2年生が、地域での連続5日間の職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組むことにより、規範意識や社会性を高め、たくましく生きる力を身につけることを目指す。学校、家庭、地域が連携、協力してこの取り組みを支える。

(小中学校課)

- ・ **スタディ・メイトサポート事業**

小・中学校等に在籍する発達障害を含めた障害のある幼児児童生徒を支援するため、スタディ・メイト（特別支援教育支援員）を特別支援学校において養成する。

また、スタディ・メイトコーディネーターを配置し、スタディ・メイト配置校を巡回指導するとともに連絡協議会や研修会を開催し市町村を支援する。

併せて、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる小・中学校等への訪問相談を実施し、発達障害を含めた障害のある幼児児童生徒の教育の充実を図る。

(県立学校課)

- ・ **スポーツエキスパート派遣事業**

学校の運動部活動へスポーツエキスパート（地域の優れたスポーツ指導者）を派遣する。

- ・ **地域スポーツ人材の活用実践支援事業**

専門的で高い技術指導力を持つ地域のスポーツ人材を、小学校の体育の授業補助に派遣する。

(スポーツ・保健課)

- ・ **学校運営の支援**

教職員OBによる学校図書館や学校行事などの運営を補助するボランティア活動を支援する。

(小中学校課)

(2) 地域ぐるみによる児童生徒の安全確保

[登下校時の安全対策]

- ・ **子どもの登下校安全対策事業**

登下校時等の子どもの安全を確保するため、スクールガード・リーダーの配置を促進し、学校安全パトロール隊の活動を支援するとともに、通学路巡回を委託し、安全対策を推進する。

(スポーツ・保健課)

[防犯・防災対策]

- ・ **防犯教室指導者講習会の開催**

学校の実践的な安全教育の充実を図るため、教職員等を対象として実施する。

- ・ **防災教育指導者講習会の開催（22年度新規）**

学校の実践的な防災教育の充実を図るため、教職員等を対象として実施する。
(スポーツ・保健課)

[高等学校教育の推進]

政策目標： 高校では、自らの将来を切り拓いていくための、確かな学力、規範意識や社会性ととともに、社会に積極的に貢献しようとする意欲と態度を身につける教育が行われていること。

1 高校教育改革の推進

社会環境の変化や生徒の個性・価値観の多様化などに対応し、生徒が相互に切磋琢磨し、充実した高校生活を送ることができるよう、県立学校教育振興計画基本計画に基づく改革などに取り組む。

[富山県教育の振興]

- ・ **教育タウンミーティング開催事業**

家庭、学校、地域、企業等が一体となって、県民総ぐるみで教育の充実に取り組む気運を高めるため、教育タウンミーティングを開催する。

(教育企画課)

- ・ **明日のとやま教育創造基金の活用**

基金の活用により、教育活動の充実、教員の資質向上その他の学校教育の発展に関する施策を推進する。

- ・ **教師の学び支援塾事業**

教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウについて、研修等を通じて若手教員に伝承する。

(県立学校課)

[県立学校教育振興計画の推進]

- ・ **県立学校教育振興計画推進費**

県立学校の教育振興を図るための「県立学校教育振興計画 基本計画」に基づき、学校の望ましい規模と配置など、生徒の学習環境の整備等を着実に推進するための必要な施策を実施する。また、探究科(仮称)開設の準備を進める。

- ・ **探究科(仮称)開設推進・指導教員養成事業（22年度新規）**

探究科等新学科の開設に向けた具体的な検討を進めるとともに、探究的な学習やより高度な教科学習に対応する教員の指導力向上研修等を実施する。

- ・ **県立学校教育改革推進事業**

すべての県立学校において中長期ビジョンを策定し、科学教育、ものづくり教育、キャリア教育など生徒や学校の実態等に応じた実効性のある取り組

みを推進する。

(県立学校課)

[県内教育研究団体との連携]

- ・ 県内各種教育研究団体等への活動助成

(県立学校課)

2 自立する力を伸ばす教育の充実

生徒の自ら学び考える力や学ぶ意欲の向上を図るとともに、豊かな人間性と創造性をもって、自らを律し、社会の変化に主体的に対応できる力を育てる。

(1) 学力の向上

[創意ある教育活動の支援]

- ・ 県立学校教育改革推進事業

すべての県立学校において中長期ビジョンを策定し、生徒や学校の実態等に
応じた実効性のある取り組みを推進する。

〈例〉 探究的な活動・発展的学習の推進（大学レベルの実験、先端技術の
学習等）、教員の授業力などのスキルアップ（予備校講師の招へいや予
備校への教員派遣等）等

(県立学校課)

- ・ とやま科学オリンピック開催準備（小・中・高等学校）

子どもたちの科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能を見出して
伸ばすことを目的とした「とやま科学オリンピック」の開催に向け、調査検
討及びプレ大会を実施する。

(教育企画課)

- ・ 資源エネルギー教育推進事業の実施

資源エネルギー教育を推進するために学習教材の作成や指導方法の工夫改
善等について各学校を支援する。

(県立学校課)

[郷土・自国の歴史の理解]

- ・ 高校生郷土史・日本史学習教材作成事業（22年度新規）

県立高校における郷土史・日本史学習の補助教材を作成するとともに、モ
デル校での試行を行う。

(県立学校課)

[効果的な国際理解教育の推進]

- ・ 外国語指導助手〔ALT〕の配置

(県立学校課)

(2) 創造性の伸長

[創意ある教育活動の支援]

- ・ 県立学校教育改革推進事業

すべての県立学校において中長期ビジョンを策定し、生徒や学校の実態等
に応じた実効性のある取り組みを推進する。

〈例〉ものづくり教育の推進（ロボットコンテスト等）、コミュニケーション

[文化活動等の促進]

- ・ **全国高等学校総合文化祭富山大会の開催推進（22年度新規）**
 - ・平成24年に本県開催が内定している全国大会に向け、実行委員会を設置するとともに、先催県の調査、総合開会式等の企画検討など、本格的な準備を進める。
 - ・「ふるさと文学」を通して観る情景作品の募集（中・高等学校）
- ・ **高等学校文化連盟等への支援**
富山県高等学校文化祭開催に係る同連盟の活動を支援するとともに、吹奏楽の技術向上を目的としてプロの演奏家による実技指導事業を実施する。
- ・ **文化活動の成果の全国への紹介と県外生との交流促進**
全国高等学校総合文化祭の参加者や全国コンクールの出場者へ支援する。
（生涯学習・文化財室）

[学習に対する自発性や挑戦意欲の高揚]

- ・ **芸術・文化・科学等の様々な分野で優れた成果を収めた生徒の顕彰**
（教育企画課）

(3) 国際化への対応

- ・ 高校生の海外派遣事業の実施
- ・ 外国語指導助手〔ALT〕の配置

（県立学校課）

(4) 生徒指導の充実

- ・ **高校へのスクールカウンセラーの配置（22年度新規）**
県立高校定時制に加え新たに全日制にもスクールカウンセラーを配置し、拠点校でのカウンセリング、その他の高校への巡回支援等を行う。
- ・ **生徒育成サポート事業**
 - ・「児童生徒育成支援会議」の開催
 - ・学校リスクマネジメントに係る弁護士の派遣
- ・ **ネットパトロール事業（22年度新規）**
ネット監視員を総合教育センターに常駐させ、年間を通じてネットパトロールを実施する。
- ・ **24時間相談電話（いじめ等）の設置**
児童生徒や保護者の電話相談に常時対応するため、総合教育センターに24時間対応の「いじめ相談電話」を設置する。
（小中学校課）
- ・ **生徒の自己指導能力の育成**
生徒がやり遂げた喜びや学ぶ喜びを味わえる学習活動の展開、役割分担を明確にしながら組織的・計画的に対応できる生徒指導の推進等により、社会の変化に主体的に対応できる自己指導能力を育成する。
（県立学校課）

(5) 健康・体力づくり

[運動部活動の振興]

- ・ **スポーツエキスパート派遣事業（中・高等学校）**

学校の運動部活動へスポーツエキスパート(地域の優れたスポーツ指導者)を派遣する。

- ・ **生徒数の減少や完全学校週5日制への対応**

複数校による合同運動部活動の実施など、生徒のスポーツニーズに応えた運動部活動を推進する。

(スポーツ・保健課)

[健康教育の推進]

- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業**

- ・ 早寝早起きや、朝ご飯をしっかり食べるなどの望ましい生活習慣を身に付けさせ、心身の健康の保持・増進を図る。

- ・ 地域の専門家や保健関係機関と連携した健康管理の充実を図る。

これらを学校・家庭・地域の連携により推進する。

- ・ **学校での健康教育等の推進と家庭における健康づくりの支援**

生徒の健康診断結果等を分析し生活習慣病等の予防対策を実施する。

また、健康な生活習慣づくり、歯科保健、近視予防、性感染症予防、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等について、実践活動の研究や啓発普及を行う。

(スポーツ・保健課)

(6) 教育委員会の組織機構の見直し

平成24年に本県で開催予定の「第36回全国高等学校総合文化祭」の推進体制を強化するため、生涯学習・文化財室に「全国高等学校総合文化祭推進班」を新設して担当職員を配置する。

3 社会人としての意識を高める教育の充実

生徒の社会性や職業観、社会に積極的に貢献しようとする意欲と態度を育成するため、地域との連携も図りながら、職業・ボランティア体験、異年齢交流などの体験的な学習を充実する。

(1) 社会とふれあう心の育成

[社会性、主体性の育成]

- ・ **県立学校教育改革推進事業**

すべての県立学校において中長期ビジョンを策定し、生徒や学校の実態等に応じた実効性のある取り組みを推進する。

〈例〉社会性・規範意識の向上

(インターンシップやボランティア活動等の体験活動)等

- ・ **中高生子育てふれあい体験事業(22年度新規)**

県立高校1年生全員に家庭科副読本を配布し活用するとともに、生命の尊さや家庭の役割、子育てについて理解を深めるため、乳幼児とのふれあい体験を推進し、「高校生子育て理解講座」を実施する。

また、中学生にも子育てへの関心を持たせるために県内各中学校へ副読本を配布する。

(県立学校課)

- ・ **高校生あったかハートスキルアップ研修会事業**
 保育・老人介護等のボランティア体験を通して、高校生の地域社会への参画意識を醸成する。
 (生涯学習・文化財室)
- ・ **生徒が主体的に進める活動への支援**
 福祉・ボランティア活動やインターンシップ、生徒自身の問題を解決するための生徒会活動、学級活動等に対し、家庭や地域の教育力も活用しながら支援する。
- ・ **社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などのはぐくみ**
 学校の教育活動全体を通して、生徒に社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの豊かな人間性をはぐくみ、自由と規律がバランスよく身に付くよう努める。
 (県立学校課)
- ・ **人権教育の推進**
 人類普遍の原理である自由・平等の原則と日本国憲法及び教育基本法の精神にのっとり、社会の中に根強く残っている不合理な差別をなくし、基本的人権を尊重する精神の涵養と実践力の高揚を図る。
 このため、人権教育に関する研修を充実するとともに、啓発資料を作成、配布し、人権尊重についての認識をさらに深めるよう努める。(生涯学習・文化財室)

(2) キャリア教育の推進

[地域産業等との連携によるものづくり人材の育成]

- ・ **県立学校教育改革推進事業**
 すべての県立学校において中長期ビジョンを策定し、生徒や学校の実態等に応じた実効性のある取り組みを推進する。
 <例> 勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進
 (インターンシップ、企業との連携協力による課題研究)
- ・ **高校生ものづくり人材育成事業**
 ものづくりを支える将来の専門的職業人及び地域産業界のニーズに応じた職業人の育成を実現するための事業を実施する。
 (県立学校課)

[インターンシップの推進]

- ・ **高校生インターンシップ制度推進事業**
 高等学校が、地域、企業と連携しながら実施し、就業体験を通して生徒に望ましい職業観を身に付けさせる。
 (県立学校課)

[就職支援の強化]

- ・ **就職支援アドバイザー配置事業**
 就職状況が一段と厳しくなると予想される折、就業支援アドバイザーを4地区に配置し、進路指導主事と連携しながら各学校の就職支援を行う。
 (県立学校課)

4 地域に信頼される教育の推進

地域に開かれ信頼される高校教育の推進のため、学校教育情報の積極的な公表などによる学校運営の改善や教育施設環境の整備を推進する。

(1) 学校運営の改善

・ 学校評価の推進

学校の教育活動について、的確に評価を行いその結果を公表する学校評価を全県立学校で実施するとともに、その充実を図る。

・ 学校評議員事業

学校評議員制度を全県立学校で実施する。

(県立学校課)

・ 学校パワーアップ推進会議

教員が生徒と向き合いやすい環境を整え、学校教育の質の維持向上、教職員の職務能率の向上と健康増進を図り、もって、学校の組織力を高めるために、「とやま学校パワーアップ方針 2010」に基づき、「学校パワーアップ推進会議」において、学校における事務改善策等の検討及び点検を行う。

・ I C Tを活用することによって軽減できる業務の分析を行うとともに、有効な活用方法を検討する。

・ 県立学校教員支援員配置事業

社会経験等を生かし、教職員の業務を補助する教員支援員を配置する。

(教職員課)

・ 学びの体験オープンハイスクール事業

中学3年生が、各高等学校の教育内容の理解を深め、明確な目的意識を持って進学できるようにするための体験入学週間を設けるとともに、地域への授業公開を進めることで中高の円滑な接続、地域に信頼される学校づくりを推進する。

(県立学校課)

(2) 魅力ある教育環境づくり

[情報化への対応]

・ 「とやまマルチネット」を活用した教育の情報化の推進

県域高速回線網「とやまマルチネット」による、全県立学校に整備された校内LANやコンピュータ等情報通信機器を活かし、教科指導における学力の向上及び情報教育等の推進に向けたインターネットやI C Tが活用できる学習環境の充実を図るとともに、I C Tを適切に活用した校務情報化を推進する。

(教職員課、県立学校課)

・ 教育研究や研修等の充実

インターネットやI C T環境を活かす教員のI C T活用指導力の向上に向けた教育研究及び研修を充実する。

- ・ 小・中・高等学校及び特別支援学校を交えた教育情報データベースの活用
- ・ インターネットやI C Tを活用した授業方法に関する教育研究
- ・ インターネットを活用した保護者・地域等外部に向けた情報発信や情報公開に関する研修 等

(教育企画課)

- ・ **ICT支援員配置事業（学校支援事業）**

インターネットやコンピュータ等ICT学習環境を活用した授業等を円滑に行うための支援員を配置する。

（教職員課）

[県立学校の整備推進]

- ・ **高等学校の改築、改修、運動場整備等**

高校再編5校の実習棟の整備、雄峰高校の改築に伴う基本・実施設計等グラウンドの芝生化等の運動場改修、校舎・トイレ等の修繕、環境対策等産業教育設備、校内LAN整備等

（教育企画課）

[高校生の修学援助]

- ・ **経済的理由で修学が困難な高校生に対する奨学金事業を実施**

通常の奨学金制度のほか、保護者の失職などによる家計急変の場合、月額5千円上乘せして貸与する「特別緊急採用による奨学金貸与制度」などを実施する。

- ・ **県立高校授業料無償化の実施**

県立高校授業料を原則として不徴収とする。

（県立学校課）

[教員の資質の向上]

政策目標： 教員については、優れた教育理念や指導技術を継承し、教育への情熱や使命感、教師としての人間性を高めるとともに、今日的な教育課題に対応した実践力や指導の向上が図られていること。

1 研修の充実

教員が優れた教育理念や指導技術を継承するとともに、今日的な教育課題に対応した実践力や指導力を向上させることにより、勤勉で質の高い教員が育ち、児童生徒や保護者の教員に対する信頼をゆるぎないものとするため、教員研修の充実や自発的な研修への支援を図る。

(1) 教員研修の充実

- ・ 創意と責任ある教育活動を展開できるよう、学校内における職務や経験等に配慮し、ライフステージに応じた研修や新学習指導要領、情報教育、学校組織マネジメント等、今日的な課題に対応した研修の充実に努める。

特に、初任者研修、6年次教職員研修、11年次教職員研修等の年次研修において、「具体的な事例や体験を通して学ぶ研修」や「教職員としての自覚や使命感・倫理観を高める研修」の充実に努める。

（小中学校課）

- ・ **現職教員を富山大学大学院、上越教育大学大学院へ派遣**

（教職員課）

- ・ **大学、研究機関、企業等への内地留学や海外研修の実施**

（県立学校課、小中学校課）

- ・ 大学院修学休業制度や認定講習制度を活用した、教員の専修免許状等の取得の促進や資質向上
- ・ 自己啓発等休業制度を活用した、多様な教育課題に対応できる教員の育成
(教職員課)
- ・ **教師の学び支援塾事業**
教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウについて、研修等を通じて若手教員に伝承する。
- ・ **教師力向上支援事業**
今日的な教育課題に対応していく資質を涵養するため、教員を国内外の教育事情視察などに派遣する。
(県立学校課)

(2) 専門能力の研鑽

- ・ **小学校外国語活動指導力向上研修事業**
小学校高学年における外国語活動の必修化に向け、教員の研修や英語ノートの活用事例集の作成を行う。
(小中学校課)
- ・ **英語教員を対象とする研修の実施**
英語によるコミュニケーションができる生徒の育成のために、教員の指導力向上を図る。
(県立学校課)
- ・ **生徒指導や教育相談にかかわる教員の資質向上**
生徒指導セミナーや学校カウンセリング講座等の研修機会の充実を図る。
(県立学校課、小中学校課)
- ・ **進路指導にかかわる教員の資質向上**
進路指導講演会、事例発表や校種ごとに分かれての研究協議を実施する。
(県立学校課)
- ・ **司書教諭の配置**
すべての12学級以上の小・中・高等学校及び特別支援学校に司書教諭を配置するとともに、現職教員の司書教諭資格の取得に努める。
(教職員課)
- ・ **特別支援教育研修の充実**
複数の障害に対応した特別支援学校の配置や在籍する子どもの障害の重度・重複化に対応するため教員の資質向上を図る。
(県立学校課)
- ・ **幼稚園教員の資質向上**
基本的な生活習慣や態度を育て、豊かな感性や表現力を養う幼児教育の研修を充実する。
(小中学校課)
- ・ **集団登山引率者講習会の開催**
安全な登山の実施のため、教員を対象とした講習会を開催する。
(スポーツ・保健課)

(3) 富山大学との連携による取り組み

- ・ **教員相互の連携協力**
富山大学教員が、県総合教育センターの客員教授等として、教員研修及び調査研究等に連携協力し、教員の資質向上と教育研究の一層の充実を図る。
一方、県教育委員会は、富山大学に教員を派遣し、教員志望の学生対象の教材研究等に関する講義に協力し、教員養成の充実を図る。

(教育企画課、県立学校課、小中学校課)

・ 「とやま学」推進事業

富山大学人間発達科学部の学生を対象とした必修専門科目(科目名 地域教材研究「とやま学」)を開設する。本講義では、富山県に関する歴史・自然・産業・文化等富山県の特色ある内容を取り上げ、地域に対する理解を深めることを通して、富山県の教員としての情熱・希望・使命感を高めるとともに、教材開発などの実践的指導力の向上を図る。(小中学校課)

2 適切な人事管理と子どもと向き合う環境の整備

学校の教育力の向上のため、優秀な人材の採用・登用や指導力不足教員対策、事務改善による教員が子どもと向き合いやすい環境の整備等を推進する。

[人材の採用、登用]

- ・ 学校教育をめぐる様々な課題に対応できる使命感と向上心にあふれ、指導力に富んだ個性豊かな人材の採用を図る。

教員人材確保事業

意欲ある優秀な教員の確保を図るための周知・広報活動を実施する。

- ・ 優秀な若手教員を管理職に積極的に登用し、学校教育全体の活性化と教職員の意欲向上を図る。(教職員課)

[教員の指導力回復]

・ 学校パワーアップ事業(指導力向上特別研修事業)

指導が不適切と判定された教員に対して、指導力回復のための研修を実施し、学校現場への復帰を支援する。(教育企画課、教職員課)

[教員評価制度の実施]

・ 教員評価事業

県内の小・中・高等学校及び特別支援学校で、教員評価制度を実施する。(教職員課)

[子どもと向き合う環境の整備]

・ 学校パワーアップ推進会議

教員が子どもと向き合いやすい環境を整え、学校教育の質の維持向上、教職員の職務能率の向上と健康増進を図り、もって、学校の組織力を高めるために、「とやま学校パワーアップ方針 2010」に基づき、「学校パワーアップ推進会議」において、学校における事務改善策等の検討及び点検を行う。

・ ICTを活用することによって軽減できる業務の分析を行うとともに、有効な活用方法を検討する。

・ 学校支援事業

- ・ 小学校外国語活動協力員配置事業

小学校外国語活動の教材作成や発音指導補助ができる協力員を配置する。

- ・ 学習環境整備支援員配置事業
新学習指導要領に対応した理数教育等の充実を図るため、教材作成等を行う支援員を配置する。
- ・ ICT支援員配置事業
インターネットやコンピュータ等ICT学習環境を活用した授業等を円滑に行うための支援員を配置する。
- ・ 外国人児童生徒適応支援員配置事業
外国人児童生徒の学習や生活の援助を行う支援員を配置する。
- ・ 県立学校教員支援員配置事業
社会経験等を生かし、教職員の業務を補助する教員支援員を配置する。
(教職員課)

3 健康管理・福利厚生の実践

学校教育を担う教職員が、心身とも健康で、意欲と使命感を持って教育活動に専念できるよう、健康管理及び福利厚生の実践に努める。

(1) 教職員の心と体の健康管理の実践

[セルフケアとカウンセリングの推進]

- ・ 人間ドック、女性検診、ストレスドックの実施
- ・ リラックス体験の実施
- ・ 教職員・心の健康管理医によるカウンセリングの実施 等

(小中学校課)

[疾病の未然防止・早期対策]

- ・ 結核健診及び生活習慣病予防健診の実施
- ・ 生活習慣病予防健診結果に基づく保健指導の実施
- ・ 長時間勤務教職員に対する医師による面接指導と臨時健診の実施

(小中学校課)

(2) 福利厚生事業の実践等

[健康増進や余暇の有効利用のための環境整備]

- ・ 健康・余暇活動の促進等
- ・ 「水曜リフレッシュ運動」の推進
毎週水曜日をリフレッシュデーとし、教職員が家族との団らんや趣味の時間を持ち、心身のリフレッシュを図る。
(小中学校課)

[教職員の生涯生活設計の支援]

- ・ ライフプランセミナーや講演会の開催
(小中学校課)

Ⅲ 生涯をととした学びの推進

政策目標： 誰もが一人ひとりの目的、ニーズや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること。

1 多様な学習活動の支援

県民の学習ニーズの多様化、高度化や、団塊の世代が退職時期を迎えていることを踏まえ、あらゆるライフステージにおいて県民一人ひとりが自由に多様な学習機会を享受し、自己実現を図るとともに、学習の成果が地域ボランティアの活動など地域社会に活かすことができる環境づくりを推進する。

特に、県民の主体的な活動の支援やボランティア指導者等の育成を支援する「人材育成型」事業の推進に努める。

[各種センターを拠点とした学習の場や情報の提供]

- ・ 県民カレッジ本部、新川・高岡・砺波各地区センターの運営
県民カレッジ自遊塾、夏季講座、ふるさと学習指導者セミナー等の開催
- ・ 富山県映像センターの運営

(生涯学習・文化財室)

[基本的人権の尊重]

- ・ 人権教育の推進

人類普遍の原理である自由・平等の原則と日本国憲法及び教育基本法の本質にのっとり、社会の中に根強く残っている不合理な差別をなくし、基本的人権を尊重する精神の涵養と実践力の高揚を図る。

このため、人権教育に関する研修を充実するとともに、啓発資料を作成、配布し、人権尊重についての認識をさらに深めるよう努める。

(生涯学習・文化財室)

2 県民の学習を支える基盤整備

県民の主体的、自発的な学習活動を促す基盤となる、生涯学習に関わる大学・民間・行政などの相互の適切な連携・学習サービス提供や、県民の学習活動を支えるボランティアやリーダーの育成を図る。

[ボランティア指導者の育成]

- ・ ふるさと学びあい推進事業（22年度新規）

地域の魅力を県民に伝え、指導する学びのボランティアリーダーを「ふるさと学習指導者セミナー」において養成し、ふるさと教育を推進する。

(生涯学習・文化財室)

[学習支援ネットワークの充実]

- ・ とやま学遊ネットの運用

生涯学習情報のリアルタイムの提供、双方向化等内容を充実する。

(生涯学習・文化財室)

[社会教育関係団体の活動支援]

- ・ 青少年教育、女性教育、成人教育等の普及啓発を实践する社会教育団体の支援
- ・ 富山県青年議会の開催

(生涯学習・文化財室)

[県立図書館の充実]

- ・ 県立図書館のサービス向上と利用促進

(生涯学習・文化財室)

[学びのネットワークの形成]

- ・ **富山県公民館ふるさと教育推進事業（22年度新規）**

公民館を中心に、地域の団体や図書館、博物館などが連携し、ふるさとのすばらしい自然・歴史・伝統・文化などを、楽しく体験したり学んだりする活動を推進する。

- ・ **ICT活用ふるさと学習コミュニティ活性化事業（22年度新規）**

ICTやインターネット市民塾におけるつながりを生かしたふるさと学習のグループ「ふるさと学習コミュニティ」の創生・活性化を支援する。

(生涯学習・文化財室)

- ・ **ふるさと教育推進事業（22年度新規）**

ふるさと教育の意義や必要性について普及・啓発を図るためのフォーラムの開催や団体等への表彰などを行う。

(教育企画課)

IV 伝統文化の保存・継承

政策目標： 県内各地域において育まれてきた伝統文化の魅力を継承、再発見し、質を高める活動が活発に行われるなかで、郷土への誇りと愛着が深まっていること。

1 文化財の保存・活用を担う人づくり

県民一人ひとりが、文化財に深い理解と愛着を持ち、その保存・活用に積極的に参加していくよう、幼い頃から文化財を大切に作る心の涵養を図るとともに、ボランティアの育成等を通じて、文化財保護への県民参加を促進する。

- ・ **いきいき文化財博士活用推進事業**

文化財ボランティアの活動の充実と後継者の育成を図るとともに、その活用により、子どもたちの身近な文化財に対する愛護意識を醸成する。

- ・ **子ども考古学事業**

小学校等への「出前授業」や子ども向けの企画展、親子で学んだり体験したりする考古学教室を開催し、子どもの文化財を大切に作る心を育てる。

(生涯学習・文化財室)

2 文化財を活かしたふるさとづくり

身近にある地域の魅力の再発見に向けて、本県の貴重な文化財の指定・登録を進めるとともに、文化財の保存の推進、公開と活用を図る。とりわけ、世界文化遺産登録への活動を通じて、富山の魅力の再発見、全国への情報発信に努める。

- ・ **世界文化遺産登録推進事業**
 - ・ 世界文化遺産登録候補として提案された「近世高岡の文化遺産群」と「立山・黒部」に含まれる文化資産の国重要文化財や史跡の指定に向けた地元自治体の調査研究を支援する。
 - ・ 立山・黒部地域における信仰・砂防・発電に関わる山岳遺跡の調査を実施する。(22年度新規)
 - ・ 五箇山の合掌造り集落の世界文化遺産登録15周年を契機に、保存活用事業を支援し、世界遺産の価値を内外にPRする。(22年度新規)
 - ・ **とやま文化財百選事業**
 - 郷土の誇りとして後世に保存・継承すべき文化財を選定する。(22年度テーマ：まちなみ)
 - 所有者や地域による愛護意識の向上を図る。
 - ・ **越中万葉マップ作成事業(22年度新規)**
 - 県内に点在する万葉歌碑を分布、解説、写真と散策コース案内で構成したマップを作成し、ふるさと教育を推進する。
 - ・ **国・県指定文化財の保存修理事業への支援**
 - 山町筋の保存修理、五箇山の合掌造り建物の屋根葺き替えなど
 - ・ **国指定重要文化財勝興寺の本坊等の保存修理(大広間など)事業の支援**
 - ・ **埋蔵文化財展示資料整備事業(22年度新規)**
 - 埋蔵文化財センターにおいて、本県を代表する縄文時代・弥生時代の土器・石器等を展示資料として活用することができるよう整備する。
- (生涯学習・文化財室)

3 文化財の保存・活用のネットワークづくり

県民や文化財関係機関等の協働による文化財公開のネットワークの構築、並びに県民にとって活用しやすい文化財情報の提供に努める。

埋蔵文化財センターでは、特別展、一般向け企画展の外、子ども向け企画展や考古学講座を開催するなど、子どもたちが歴史と文化に触れる機会を提供する。

- ・ **「富山県デジタル文化財ミュージアム」の運営**
 - ホームページで県内の優れた文化財の魅力を発信する。
- ・ **埋蔵文化財センター特別展、企画展の開催**
 - 特別展「北陸の縄文土器の東西」、企画展「速報展 発掘されたとやま」な

ど、近年の発掘調査の成果を県民に紹介し、埋蔵文化財に対する理解を深める。

また、子ども向け企画として、火おこしや玉づくりを体験する「ふるさと考古学教室」や実際に発掘を経験する「考古学キッズ」等を実施し、埋蔵文化財を大切に作る心を培う。

(生涯学習・文化財室)

V スポーツの振興

政策目標： 誰もがそれぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるとともに、本県の選手が全国や世界で活躍していること。

1 県民がスポーツに親しむ環境づくり

県内各地の充実したスポーツ施設を活用し、県民の誰もが、身近な施設で、一人ひとりの目的や好みに応じてスポーツ活動に親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、全国スポーツ・レクリエーション祭や富山県スポーツフェスタなどの魅力あるスポーツ大会等の開催や総合型地域スポーツクラブの育成に努める。

(1) スポーツを楽しむ環境づくり

- ・ 県営体育施設の利用促進
- ・ 県立学校の体育館、グラウンド等の地域住民への開放
- ・ 「とやまスポーツ情報ネットワーク」の活用促進

インターネットによりスポーツ情報を手軽に入手・発信できる環境を整備する。

(スポーツ・保健課)

(2) 総合型地域スポーツクラブの育成

豊かなスポーツ社会実現のため、各市町村において子どもから高齢者まで生涯にわたって気軽に、身近な施設で、目的に応じたスポーツにいつでも親しむことができる総合型地域スポーツクラブの育成に努める。

- ・ 富山県広域スポーツセンターへの専任指導者の配置
- ・ クラブの連携促進のため、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会等へ支援

(スポーツ・保健課)

(3) スポーツ参加を促す機会づくり

[参加機会の拡充・奨励によるスポーツ人口の拡大]

- ・ 第23回全国スポーツ・レクリエーション祭開催事業(22年度新規)

平成22年10月16日から19日までの4日間、県内全市町村を会場として、第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」を開催する。

- ・ **きときとスポレク交流促進事業**
生涯スポーツ協議会加盟団体の世代間交流大会の開催等を支援する。
- ・ **富山県スポーツフェスタの開催**
子どもから高齢者まで、トップアスリートからスポーツ・レクリエーション愛好者までの幅広いスポーツ志向に対応した、県主催の県内最大規模の総合的なスポーツ大会である富山県スポーツフェスタを開催する。
- ・ **元気とやまウォークラリーの開催**
子どもから高齢者まで、県民が一体となって、運動習慣の定着化、体力の向上を図ることを目的とするウォーキング・イベントを県内2か所で実施する。
(スポーツ・保健課)

[全国的・国際的大会等の開催及び出場選手への支援]

- ・ 全国的・国際的大会開催補助事業
- ・ 国民体育大会への本県選手の派遣
- ・ 富山県駅伝競走大会の支援
(スポーツ・保健課)

[スポーツを通じた国際交流の推進]

- ・ 「環日本海インターハイ親善交流大会」の本県開催
(スポーツ・保健課)

2 スポーツを支える人材の養成・確保

県民のスポーツ活動の多様化、高度化に対応できるスポーツ指導者の養成確保と活動の場の提供、及びスポーツ団体の育成・支援に努める。

(1) スポーツ指導者の養成・確保

[指導者の養成、資質向上]

- ・ **地域スポーツ指導者育成推進事業**
スポーツ指導者育成のための講習会等を開催する。
- ・ **派遣スポーツ主事の全市町村への配置**
市町村の生涯スポーツ振興を支援する。
- ・ **県体育指導委員研修会や各種研修会の開催**
- ・ **中高年安全登山指導者講習会の開催**
富山県山岳連盟等と連携し、安全登山を指導できるリーダーを養成する。
(スポーツ・保健課)

[県民に元気を与える顕著な活躍をした個人、団体の顕彰]

- ・ 「元気とやまスポーツ大賞」の授与
(スポーツ・保健課)

(2) スポーツ団体の育成・支援

- ・ 富山県体育協会の活動支援
- ・ 富山県生涯スポーツ協議会や加盟種目団体の活動支援
- ・ 中学校体育連盟や高等学校体育連盟、スポーツ少年団の活動支援
(スポーツ・保健課)

3 学校等における体育・スポーツの充実

運動好きで「たくましい心と体をもった子ども」の育成を図るため、学校・家庭・地域が連携し、幼児や児童生徒の運動意欲の向上と体育・スポーツ活動の充実に努める。

また、中学校・高校の運動部活動の活性化を図るため、地域やスポーツ関係団体等と連携を図り、指導者等の養成・確保に努める。

[運動好きでたくましい子どもの育成]

- ・ **体力づくりノート作成（みんなでチャレンジ 3015）事業**

幼児期からの体力向上を図るプログラムに基づいた体力づくりノート（小学生対象）を作成し、小学校で配布する。

- ・ **地域スポーツ人材の活用実践支援事業**

専門的で高い技術指導力を持つ地域のスポーツ人材を、小学校の体育の授業補助で派遣する。

(スポーツ・保健課)

[運動部活動の振興]

- ・ **スポーツエキスパート派遣事業（中・高等学校）**

学校の運動部活動へスポーツエキスパート（地域の優れたスポーツ指導者）を派遣する。

- ・ **中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業**

運動部活動顧問の指導力向上や部活動運営の支援、本県スポーツの競技力の向上と運動部活動の一層の充実に努めるため、スーパーコーチ（全国大会で優勝等の指導経験豊かなスポーツ指導者）を派遣する。

(スポーツ・保健課)

4 全国や世界で活躍できる選手の育成

全国や世界の檜舞台で活躍する選手を育成するため、県体育協会、関係機関や企業など県民が一体となって、将来有望な人材の発掘や指導者の養成、活動の場の提供を進めるなど、選手強化の推進に努める。

特に、平成 22 年 1 月のトップアスリート育成・強化プロジェクト会議提言を踏まえた具体的な強化策の実施に取り組む。

(1) 競技力の維持と向上

- ・ 競技団体ごとの強化拠点の整備
- ・ 企業・地域クラブチームへの積極的な支援

(スポーツ・保健課)

(2) 競技人口の拡大と人材の育成

- ・ **未来のアスリート発掘事業**

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭等と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材の育成をサポートする。

- ・ **元気とやまスポーツ道場**
拠点スポーツ施設等を活用し、競技ごとに豊かな素質を持つ中・高校生の長期的な育成・強化を図る。(19競技)
- ・ **中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業**
運動部活動顧問の指導力向上や部活動運営の支援、本県スポーツの競技力の向上と運動部活動の一層の充実を図るため、スーパーコーチ（全国大会で優勝等の指導経験豊かなスポーツ指導者）を派遣する。
- ・ **世界で活躍できる選手を育成するための一貫指導体制の確立**
- ・ **中・高校生・成年の合同合宿や長期合宿遠征等の強化活動への支援**
- ・ **県民の関心の高い駅伝、高校野球やサッカーの強化**

(スポーツ・保健課)

(3) 指導者の資質向上や選手の意識改革、競技力向上のサポート

- ・ **富山県スポーツ選手重点強化プロジェクトの推進**
県スポーツアドバイザーを委嘱し、本県スポーツ指導者の意識改革や、トップアスリートの育成・強化に的を絞った競技力向上対策を検討する。
また、少年種別の重点強化モデル事業及び指導者の資質向上研修派遣事業を10競技で実施する。
- ・ **トップアスリート育成・強化事業（22年度新規）**
国立スポーツ科学センター（JISS）やナショナルトレーニングセンター（NTC）との連携による選手強化・指導者の資質向上を図る。
- ・ **強化指定選手スポーツ医・科学的サポートの推進（22年度新規）**
強化指定選手に対して、効果的な医・科学的サポート（測定・分析・トレーニング）を実施する。
- ・ **国内トップレベルの指導者やスポーツ医・科学の専門家の招へい**
- ・ **専門医によるメディカルチェックやスポーツ・クリニックの実施**
- ・ **競技団体の高額特殊備品購入の支援**

(スポーツ・保健課)

第2節 教育行政一般

1 富山県教育委員会

(1) 教育委員（平成22年10月1日現在）

委員長 村井 和 委員長職務代理者 稲垣 晴彦
 委員 水上 庄子 委員 種部 恭子
 委員 山西 潤一 委員 東野 宗朗

(2) 議決事項〈平成21年〉

*は非公開

番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
1	H21.1.23	平成21年1月富山県議会臨時会に付議する平成20年度1月補正	教育企画課	*
2	H21.1.28	教育職員の人事に関する件	教職員課	*
3	H21.1.30	富山県民生涯学習カレッジ運営会議及び同地区センター運営会議委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
4	H21.2.13	平成21年2月富山県議会定例会に付議する平成21年度予算案及び条例案等に対する意見に関する件	教育企画課	
5	H21.3.12	教育職員の人事に関する件	教職員課	
6	H21.3.12	平成21年度富山県教育委員会重点施策に関する件	教育企画課	
7	H21.3.12	富山県教育委員会表彰等規則一部改正の件	教育企画課	
8	H21.3.12	富山県立学校管理規則一部改正の件	教職員課	
9	H21.3.12	富山県教育委員会教職員安全衛生管理規程一部改正の件	小中学校課	
10	H21.3.17	富山県教育委員会委員の辞職に関する件	教育企画課	*
11	H21.3.24	教育長任命の件	教育企画課	
12	H21.3.24	事務局職員の人事に関する件	教育企画課	
13	H21.3.24	富山県教育委員会行政組織規則一部改正の件	教育企画課	
14	H21.3.24	富山県庁議運営規程及び富山県次長会議運営規程一部改正の件	教育企画課	
15	H21.3.24	富山県生涯学習推進本部設置要綱一部改正の件	生涯学習・文化財室	
16	H21.3.24	富山県教育職員免許状に関する規則一部改正の件	教職員課	
17	H21.3.24	公立学校教員の採用の選考資格に関する規程一部改正の件	教職員課	

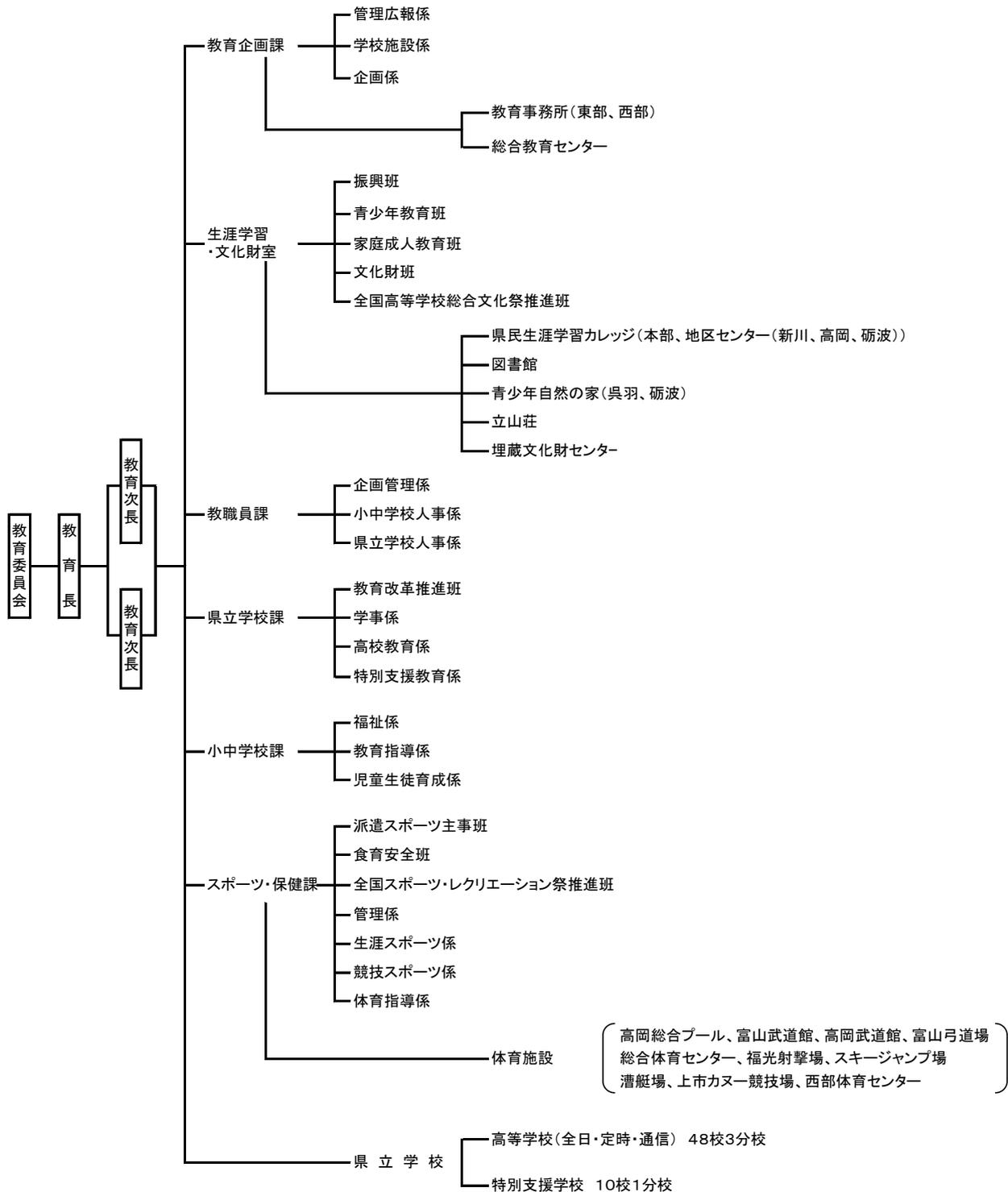
番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
18	H21. 3. 24	公立専修学校設置認可の件	県立学校課	
19	H21. 3. 24	公立幼稚園廃止認可の件	小中学校課	
20	H21. 5. 12	平成 21 年度富山県教科用図書選定審議会委員任命の件	小中学校課	*
21	H21. 5. 19	異議申立てに係る決定に関する件	小中学校課	*
22	H21. 5. 19	富山県心身障害児就学指導委員会委員委嘱の件	県立学校課	*
23	H21. 5. 19	富山県立近代美術館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
24	H21. 5. 19	富山県水墨美術館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
25	H21. 6. 4	平成 21 年 6 月富山県議会定例会に付議する平成 21 年度 6 月補正予算案等に対する意見に関する件	教育企画課	*
26	H21. 6. 30	平成 22 年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択の件	小中学校課	*
27	H21. 6. 30	富山県生涯学習審議会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
28	H21. 6. 30	公立各種学校廃止認可の件	県立学校課	
29	H21. 7. 30	富山県民生涯学習カレッジ運営会議及び委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
30	H21. 7. 30	平成 22 年度富山県立高等学校及び富山県立特別支援学校幼稚部・高等部の入学者選抜日程決定の件	県立学校課	
31	H21. 8. 25	富山県文化審議会委員及び顧問の任命に対する意見に関する件	生涯学習・文化財室	*
32	H21. 8. 25	県立高等学校再編の前期実施計画による新高校の名称の決定等に関する件	県立学校課	
33	H21. 8. 25	県立特別支援学校の再編に伴う名称変更に関する件	県立学校課	
34	H21. 8. 25	富山県指定史跡の指定の解除の告示に関する件	生涯学習・文化財室	
35	H21. 9. 4	平成 21 年 9 月富山県議会定例会に付議する平成 21 年度 9 月補正予算案等に対する意見に関する件	教育企画課	*
36	H21. 9. 10	富山県スポーツ振興審議会委員任命の件	スポーツ・保健課	*
37	H21. 10. 1	富山県立高等学校等の分校の設置に関する規則一部改正の件	県立学校課	
38	H21. 10. 1	富山県立高等学校等の課程、学科等の設置等に関する規則一部改正の件	県立学校課	
39	H21. 10. 1	富山県立高等学校通学区域設定規則一部改正の件	県立学校課	
40	H21. 10. 7	平成 21 年度教育功労者等表彰の件	教育企画課	*

番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
41	H21.10.7	平成 21 年度富山県教育委員会（健康教育実践優良学校）表彰の件	スポーツ・保健課	*
42	H21.10.7	平成 22 年度富山県立学校募集定員等決定の件	県立学校課	
43	H21.10.27	教育に関する事務の点検及び評価に係る学識経験者の委嘱の件	教育企画課	*
44	H21.10.27	平成 22 年度富山県立高等学校入学者募集要項制定の件	県立学校課	
45	H21.10.27	平成 22 年度富山県特別支援学校の幼稚部入学者募集要項制定の件	県立学校課	
46	H21.10.27	平成 22 年度富山県特別支援学校の高等部入学者募集要項制定の件	県立学校課	
47	H21.11.25	平成 21 年度富山県教育委員会（学校給食優良学校等）表彰の件	スポーツ・保健課	*
48	H21.11.25	平成 21 年度教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（平成 20 年度分）の件	教育企画課	
49	H21.11.25	富山県立高等学校等の分校の設置に関する規則一部改正の件	県立学校課	
50	H21.11.25	平成 21 年度末教員異動の方針に関する件	教職員課	
51	H21.11.27	平成 21 年 12 月富山県議会定例会に付議する平成 21 年度 12 月補正予算案等に対する意見に関する件	教育企画課	*
52	H21.12.24	富山県民生涯学習カレッジ運営会議及び同地区センター運営会議委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
53	H21.12.24	富山県教職員健康審査会規則一部改正の件	小中学校課	
54	H21.12.24	富山県教育委員会事務局の職員等の勤務時間に関する規程一部改正の件	教育企画課	
55	H21.12.24	県立学校職員の勤務時間に関する規程一部改正の件	教職員課	
56	H21.12.24	富山県民生涯学習カレッジに勤務する職員の勤務時間に関する規程制定の件	生涯学習・文化財室	
57	H21.12.24	富山県立図書館に勤務する職員の勤務時間に関する規程一部改正の件	生涯学習・文化財室	
58	H21.12.24	富山県青少年自然の家に勤務する職員の勤務時間に関する規程制定の件	生涯学習・文化財室	
59	H21.12.24	富山県埋蔵文化財センターに勤務する職員の勤務時間に関する規程一部改正の件	生涯学習・文化財室	
60	H21.12.24	富山県立近代美術館に勤務する職員の勤務時間に関する規程一部改正の件	生涯学習・文化財室	
61	H21.12.24	富山県水墨美術館に勤務する職員の勤務時間に関する規程一部改正の件	生涯学習・文化財室	
62	H21.12.24	富山県立山博物館に勤務する職員の勤務時間に関する規程一部改正の件	生涯学習・文化財室	

2 県教育委員会行政機構

(1) 組織機構図

(平成22年4月現在)



(2) 所管事項

【本庁（6課）】

課名	班・係名	所管事項
教育企画課	管理広報係 学校施設係 企画係	事務局職員の人事、給与、予算、表彰、広報等 県立学校施設の整備及び管理、文教施設国補事業 教育問題研究、政策評価、調査統計
生涯学習・ 文化財室	振興班 青少年教育班 家庭成人教育班 文化財班 全国高等学校総合文化祭推進班	生涯学習の振興及び社会教育施設の整備・管理 青少年教育の推進、青少年団体の育成 成人・女性・家庭教育の推進、社会教育団体育成、 公民館の指導 文化財の保護、顕彰、文化財保護団体の育成 平成24年度開催予定の全国高等学校総合文化祭 の開催準備に関すること
教職員課	企画管理係 小中学校人事係 県立学校人事係	学校事務職員の人事、教職員の給与、予算、研修 小中学校教育職員の人事、給与、服務 県立学校教育職員の人事、給与、服務
県立学校課	教育改革推進班 学事係 高校教育係 特別支援教育係	県立高校再編、学級編成 授業料、育成奨学 高等学校教育指導 特別支援教育指導
小中学校課	福祉係 教育指導係 児童生徒育成係	教職員の福利厚生、共済組合 幼・小・中学校教育指導 小・中・高等学校生徒指導
スポーツ・ 保健課	派遣スポーツ主事班 食育安全班 全国スポーツ・レクリエーション祭推進班 管理係 生涯スポーツ係 競技スポーツ係 体育指導係	市町村社会体育・スポーツの振興 学校の保健、安全、健康管理、学校給食の指導 平成22年度開催の第23回全国スポーツ・レクリエーション祭の準備 県営体育施設の運営、管理 生涯スポーツの普及、振興 競技スポーツの普及、振興 学校体育の指導

【出先機関及び教育機関】

機関名	所管事項・設置目的等
教育事務所（東部・西部）	小・中学校教員の人事、給与、研修、指導
県民生涯学習カレッジ （本部、新川・高岡・砺波地区センター）	生涯学習の振興、講座開設
総合教育センター	教育研究、教員研修
県立図書館	図書・記録・その他資料の収集整理保存、閲覧・貸出
青少年自然の家（呉羽・砺波）	青少年の集団宿泊訓練、野外活動の推進
立山荘	レクリエーションの振興を図る施設の提供
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財の調査研究、収蔵及びその活用
体育施設（10施設）	体育、スポーツの振興及び施設の提供

【知事部局と共管（平成 18 年 4 月～）】

機関名	設置目的等
近代美術館	県民の美術に関する知識の普及及び教養の向上
水墨美術館	水墨画等の文化的所産の紹介による教養の向上
立山博物館	立山の自然、歴史等に関する資料の収集、保管、展示、調査研究

3 県教育事務所

県教育事務所は、県教育委員会事務局の出先機関として、東部、西部の2ヵ所に設置し、管内小・中学校職員の服務規程、各学校の教育指導、社会教育の指導等の業務を行っている。

その名称、位置、所管区域は次のとおりとなっている。

（平成 22 年 4 月 1 日現在）

名称	位置	所管区域
東部教育事務所	富山市	富山市、魚津市、黒部市、滑川市、朝日町、入善町、舟橋村、立山町、上市町
西部教育事務所	高岡市	高岡市、氷見市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市

4 市町村教育委員会

〈組織別教育委員会数〉

（平成 22 年 4 月 1 日現在）

区分	市	町	村	計
委員 5 人制	10	4	1	15
委員 3 人制	—	—	—	—
計	10	4	1	15

第3節 教育財政

<平成22年度当初予算の概況>

(1) 一般会計

平成22年度県予算総額は、5,574億6,549万円で、前年度と比較して257億2,823万円増加（4.8%増）している。

このうち、教育委員会所管予算額は、965億9,277万円で、前年度と比較して14億6,404万円減少し（対前年度比1.5%減）、県の一般会計予算全体に占める割合は、17.3%となっている。

ア 県予算との比較

（単位：千円）

区 分	平成21年度	平成22年度	増 減	構 成 比	対前年度比	備考
県 予 算	531,737,256	557,465,487	25,728,231	100.0%	104.8%	
教育委員会所管予算	98,056,808	96,592,766	△ 1,464,042	17.3%	98.5%	

イ 「項」別内訳表

（単位：千円）

区 分	平成21年度	平成22年度	増 減	構 成 比	対前年度比	備考
教育総務費	2,961,476	2,977,441	15,965	3.1%	100.5%	
小学校費	35,899,622	35,229,460	△ 670,162	36.5%	98.1%	
中学校費	19,610,718	19,670,835	60,117	20.4%	100.3%	
高等学校費	26,721,762	26,086,491	△ 635,271	27.0%	97.6%	
特別支援学校費	9,955,266	9,413,895	△ 541,371	9.7%	94.6%	
社会教育費	1,276,018	1,207,792	△ 68,226	1.3%	94.7%	
保健体育費	1,631,946	2,006,852	374,906	2.1%	123.0%	
合計	98,056,808	96,592,766	△ 1,464,042	100.0%	98.5%	

(2) 特別会計

会 計 名	平成21年度	平成22年度	増 減	対前年度比	備考
奨学資金特別会計 （教育委員会所管分）	207,994	242,253	34,259	116.5%	

第4節 表彰

1 叙勲

(1) 平成21年春の叙勲

〈教育功勞〉

瑞宝小綬章 上田 清成
瑞宝双光章 小川 博司
瑞宝双光章 形川 惠
瑞宝双光章 山本 武夫

(2) 平成21年秋の叙勲

〈教育功勞〉

瑞宝双光章 稲垣 實
瑞宝双光章 加藤 淳
瑞宝双光章 本江 進
瑞宝双光章 簗口 義隆

〈地方教育行政功勞〉

旭日双光章 桃井 千秋

〈スポーツ振興功勞〉

旭日双光章 五十嶋 博文

2 県教育委員会表彰

(1) 文化の日を機会とする表彰（平成21年11月2日県庁4階大ホール）

〈学校教育功勞者〉

梅木 一男
中川 正昭
野上 朝親
中川 松枝

〈学校保健功勞者〉

櫻井 泉
廣野 隆
安達 昭
松本 健二

〈優良学校〉

氷見市立十二町小学校
富山県立高岡商業高等学校
南砺総合高等学校井波高等学校

〈優良教育団体〉

高岡市立成美小学校児童会
富山県立海洋高等学校海洋クラブ
富山県立富山商業高等学校
模擬株式会社「TOMI SHOP」

〈優良児童生徒〉

石坂 真実

〈優良教職員〉

北山 輝子
瀧澤 洋子
湯上 裕美
下田 市子
飯野 恭子
中島 睦子
本田 寿美恵
杉田 浩司
加賀谷 満知子
塗師 雅角
篠原 俊一郎
麦谷 正二
中浦 雅子
島田 公子
瀬戸 泰子
羽馬 喜佐雄
長瀬 健造

〈社会教育功労者〉

林 慶隆
本井 尚身

〈体育・スポーツ功労者〉

江尻 照美
木原 勝之
武田 孝志
藤村 利彦
松本 睦男
八木 綾子
吉江 正一

〈優良社会教育団体〉

ボーイスカウト射水第3団
ガールスカウト富山県支部第30団
砺波市立砺波東部小学校PTA

〈優良体育・スポーツ団体〉

速星
高岡古城クラブ
立山わんぱくクラブスポーツ少年団
木津ソフトテニスクラブ
滑川市スポーツ少年団
とやま女性スポーツの会

〈優良芸術文化団体〉

高岡なき荷方節保存会

〈優良社会教育機関〉

南砺市高瀬西公民館

〈優良体育・スポーツ活動推進者〉

長内 香月
杉山 拓海
藤井 太河
松井 竜也
石橋 唯
中河 真奈美
吉田 玲
北本 忍
舛田 圭太
仏生寺スポーツ少年団女子ハンドボール部
富山市立大沢野中学校男子ボート部
富山市立楡原中学校ボート部
太田さつき・戸田友理恵組
富山県立富山西高等学校男子フェンシング部
富山県立高岡西高等学校女子バドミントン部
高橋沙也加・古西佳那子組
富山県立石動高等学校男子ホッケー部

(2) 富山県健康教育実践優良学校表彰（平成21年11月2日 県庁3階特別室）

ア 総合の部門（一いきいき富山っ子賞）

- (ア) 優良校 黒部市立三日市小学校
(イ) 準優良校 氷見市立女良小学校
(ウ) 努力校 砺波市立砺波北部小学校 富山市立水橋東部小学校

イ 近視予防の部門

- (ア) 優良校 入善町立上青小学校
(イ) 準優良校 氷見市立上庄小学校
(ウ) 努力校 黒部市立宇奈月小学校 魚津市立大町小学校

ウ よい歯の部門

- (ア) 優良校 魚津市立片貝小学校
(イ) 準優良校 氷見市立明和小学校
(ウ) 努力校 氷見市立仏生寺小学校 富山市立古里小学校

富山県立高岡養護学校

(3) 富山県学校給食関係表彰（平成 22 年 1 月 22 日 富山県民会館 705）

- ア 学校給食優良学校等 富山市立萩浦小学校
高岡市立下関小学校
- イ 学校給食功労団体 高岡市農協野菜出荷組合軟弱野菜部会
- ウ 学校給食功労者 平田ふさ子（南砺市立井波小学校 栄養教諭）
宮田 瑞江（小矢部市学校給食センター 栄養教諭）
中島 逸子（富山市立藤ノ木小学校 調理員）

3 県表彰

(1) 県表彰規定に基づく表彰（平成 21 年 11 月 2 日 県庁 4 階大ホール）

〈学校教育〉

齊藤 和夫 大畑 年 水橋 景之

〈科学文化〉

松島 洋 高岡御車山保存会

〈スポーツ〉

吉田 築夫 村田 邦夫 蛭沢 克仁
田知本 遥 穂積 雅子

4 中央表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰

（文部科学大臣表彰 平成 21 年 10 月 15 日 文部科学省講堂）

該当なし

(2) 教育者表彰（文部科学大臣表彰 平成 21 年 11 月 30 日 国立劇場小劇場）

水島 文明（朝日町立さみさと小学校長） 田林 博（魚津市立西部中学校長）
藤縄 太郎（県立富山高等学校長）

(3) 優秀教員表彰（文部科学大臣表彰 平成 22 年 1 月 25 日 メルパルクホール）

河合 紀美子 南砺市立福野小学校
後谷 仲子 射水市立放生津小学校
堀川 百合子 黒部市立東布施小学校
松田 智美 入善町立飯野小学校
武野 修治 富山市立速星中学校
城岡 朋洋 富山県立高岡高等学校
谷内 正史 富山県立盲学校

(4) 産業教育功労者表彰

(産業教育振興中央会表彰 平成 21 年 11 月 27 日 県庁 4 階大ホール)

朴木 訓夫	富山商業高等学校	教頭 (商業)
稲場 恵子	新川みどり野高等学校	教諭 (看護)
浜岸 利行	海洋高等学校	教諭 (水産)
吉江 明美	南砺総合高等学校福野高等学校	教諭 (家庭)
小西 笑子	となみ野高等学校	教諭 (家庭)
金松 賢作	富山西高等学校	実習教諭 (工業)
平野 俊一	魚津工業高等学校	実習教諭 (工業)
柳谷 百合子	富山北部高等学校	実習教諭 (工業)
泉 恵子	砺波工業高等学校	実習教諭 (工業)
山形 憲雄	富山工業高等学校	実習教諭 (工業)
出戸端 栄一	魚津工業高等学校	実習教諭 (工業)
平田 清	魚津工業高等学校	実習教諭 (工業)
米谷 吉文	高岡工芸高等学校	実習教諭 (工業)
辻 勝文	海洋高等学校	実習教諭 (水産)
千田 美紀	富山西高等学校	実習教諭 (看護)
酒井 忠雄	にいかわ養護学校	実習教諭 (農業)
河原 英男	富山西高等学校	実習教諭 (工業)

(5) 社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰 平成 21 年 11 月 20 日 文部科学省講堂)

石田 修 (日本ボーイスカウト富山県連盟コミッショナー)
小路みつ子 (富山県婦人会副会長)

(6) 体育指導委員功労者表彰

(文部科学大臣表彰 平成 21 年 11 月 19 日 山口県スポーツ文化センター)

白川 正秋 (黒部市)
中野 光成 (高岡市)

(7) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰

(文部科学大臣表彰 平成 21 年 10 月 9 日 文部科学省講堂)

〈生涯スポーツ功労者〉

竹中 直志 (富山県空手道連盟理事長)
川口 慶和 (富山県柔道連盟副会長)

〈生涯スポーツ優良団体〉

太閤山クラブ (射水市)
富山キングコング倶楽部 (高岡市)

となみR Gクラブ（砺波市）
蜷川校下体育協会（富山市）

- (8) **体力づくり優秀組織表彰**（文部科学大臣表彰 平成21年10月7日 東京国際フォーラム）
小矢部市
- (9) **優良PTA表彰**（文部科学大臣表彰 平成21年11月18日 ホテルニューオータニ
平成21年 8月27日 沖縄コンベンションセンター）
高岡市立二塚小学校PTA
魚津市立道下小学校育成会
富山県立砺波高等学校PTA
- (10) **第62回優良公民館表彰**（文部科学大臣表彰 平成21年11月5日 東海大学校友会館）
魚津市下中島公民館
- (11) **学校保健及び安全に関する表彰**（文部科学大臣表彰 平成21年11月10日 広島国際会議場）
学校保健 中村 國雄〔学校医〕（氷見市）
小西 俊英〔学校薬剤師〕（射水市）
学校安全 魚津市立村木小学校
学校安全ボランティア活動奨励賞 天瀬防犯協力会
- (12) **学校給食表彰**（文部科学大臣表彰 平成21年11月26日 滋賀県大津市大津プリンスホテル）
学校給食優良学校等 砺波市学校給食センター
- (13) **地域文化功労者表彰**（文部科学大臣表彰 平成21年11月6日 如水会館）
酒井 和佳子（富山市）
砺波子供歌舞伎曳山振興会
- (14) **子どもの読書活動に関する表彰**
（文部科学大臣表彰 平成21年4月23日 国立リハビリテーション記念青少年総合センター）
〈読書活動優秀実践校〉
氷見市立朝日丘小学校
富山市立福沢小学校
富山県立滑川高等学校
〈子どもの読書活動優秀実践図書館〉
舟橋村立図書館
〈子どもの読書活動優秀実践団体〉
Chocolat☆ショコラ（滑川市）

第5節 広報広聴活動

1 広報資料

平成21年度は、「教委だより」等による独自活動のほか、広報課との協力による広報活動、記者クラブを通じての情報提供等を行った。

県教育委員会の子な広報資料は下記のとおり。

- (1) 教委だより 県教育の現況、関係事業の案内及び報告等。隔月に発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び教育関係機関に配布。
A4判、平均8p、1回11,000部
- (2) 教育要覧 県教育の事業実績、参考資料等。年1回。A4判、221p
※18年度から県ホームページで掲載（情報公開窓口、県立図書館は製本版を配置）
- (3) 富山県の教育 県教育の現況を、図表・グラフ等により紹介。11月発行。
市町村教委、小・中・高・特別支援学校、教育関係機関に配布。
A4判、8p、中とじ、1,000部。
- (4) 福利とやま 福祉事業の紹介、結果報告等。年4回発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び県教委事務局職員に配布。
A4判、平均16p、1回9,700部

2 教育タウンミーティング等

「教育タウンミーティングー富山の教育を考ふる県民懇談会ー」

- ・テーマ：県民みんなが創る「富山の新しい教育」
- ・開催日：21年8月22日
- ・場所：黒部市国際文化センター コラーレ 参加者：約180名
- ・内容：知事からの現状報告、知事・教育委員長と県民との意見交換

「子育て支援・教育ミーティング」

- ・テーマ：子育て支援・少子化対策について、学校教育を中心とした子どもの健全育成について
- ・開催日、場所、参加者：
 - ①21年11月7日、大沢野ウェルネスリゾート ウィンディ、約130名
 - ②22年1月16日、福野ア・ミューホール、約280名
- ・内容：知事からの現状報告、知事・教育委員長と県民との意見交換

3 県の広報媒体の利用

一般県民に対する広報活動は、県の広報媒体を利用して行っている。

- ・新聞広報「県からのお知らせ」（毎月2～4回土曜日朝刊）
- ・広報誌「県広報とやま」（各世帯配布。4、6、8、10、1月の年5回）
- ・タウン誌広報「タウン情報とやま」（年6回）
- ・テレビ放送「こんにちは富山県です」（北日本放送 毎週土曜 朝15分）
「知ってナットク！元気とやま情報チャンネル」（富山テレビ 毎週日曜 朝25分）
「富山メモらナイト」（チューリップテレビ 毎週火曜 夜3分）、
- ・ラジオ放送「元気とやま情報スクエア」（FMとやま 毎週月～金曜朝5分 ㊄夕方）
（※ 毎月最終金曜は、「知事の県政ざっくばらん」 10分）
- ・お知らせ（パブリシティ）テレビ・ラジオ各局、ケーブルテレビ各局、コミュニティFM各局

第6節 奨学事業

1 県の奨学事業

(1) 富山県奨学資金

貸与条例に基づき、有用な人材の育成を図るため、経済的理由のために就学困難で、かつ優秀な者に無利子で奨学資金を貸与している。

また、21年度には家計の急変で奨学金を緊急に必要とする生徒のため、通常の奨学金よりも5千円増額貸与する「特別緊急採用による奨学金貸与制度」を創設した。

貸与金の返還方法は、卒業の月の翌年から6カ月の措置期間を含めて10年6ヵ月の期間内に年賦又は半年賦で返還する。

ア 貸与月額

(平成21年度)

学校種別	国公私 立区分	通学 区分	1年(円)	2年(円)	3年(円)	4年(円)	5年(円)	6年(円)
			(H21入学)	(H20入学)	(H19入学)	(H18入学)	(H17入学)	(H16入学)
高等学校 特別支援学校高等部 中等教育学校後期課程 専修学校高等課程	国立	自宅	18,000(特別緊急採用 23,000)					
		自宅外	23,000(特別緊急採用 28,000)					
	私立	自宅	30,000(特別緊急採用 35,000)					
		自宅外	35,000(特別緊急採用 40,000)					
高等専門学校 (4年次より貸与月額増)	なし	なし	18,000			44,000		
大学 (短期大学を含む)	なし	自宅	45,000					44,000
		自宅外	51,000					
専修学校専門課程	なし	なし	44,000					

イ 奨学生採用状況

(平成22年3月31日現在)

区分		年度	15	16	17	18	19	20	21
大学	志望者数		106人	101人	93人	83人	80人	94人	101人
	採用者数		80人	79人	57人	56人	47人	63人	57人
高校 (高専を含む)	志願者数		9人	22人	43人	54人	92人	96人	153人
	採用者数		6人	15人	26人	46人	91人	91人	140人
専修学校	志願者数		10人	21人	32人	20人	19人	14人	19人
	採用者数		6人	16人	15人	12人	16人	8人	10人

ウ 学年別貸与人員

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

区分 \ 学年	1	2	3	4	5	6	計
大 学	34 人	50 人	45 人	50 人	2 人	2 人	183 人
高校 (高専を含む)	109 人	88 人	81 人	0 人	0 人	0 人	278 人
専修学校 (高等課程)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
専修学校 (専門課程)	8 人	7 人	9 人	1 人	0 人	0 人	25 人

(2) 修学奨励費貸与事業

修学奨励金貸与条例に基づき、働きながら高校の定時制及び通信制に在学する者に対し、修学奨励金を貸与することによりその修学を促進し、もって教育の機会均等に資する。

なお、定時制又は通信制高校を卒業した場合は、返済債務は免除される。

ア 貸与月額

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

区分 \ 年度	貸与月額	
定時制課程	1・2・3・4 年生	公立 14,000 円
通信制課程	1・2・3・4 年次生	公立 14,000 円

イ 奨学生採用状況

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

年度	17	18	19	20	21
申請者数	3 人	3 人	2 人	1 人	1 人
採用者数	3 人	3 人	2 人	1 人	1 人

ウ 学年別貸与人員

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

区分 \ 学年	1	2	3	4
定時制課程	0 人	0 人	0 人	0 人
通信制課程	0 人	0 人	0 人	0 人

(3) その他 (災害被災者への措置)

平成 20 年 7 月 28 日に発生した南砺市の豪雨被害 (災害救助法適用) について、被災者に対する県立高等学校授業料減免の特別措置を講じた。

(授業料全額免除者 (21 年 4 月分～21 年 7 月分) 1 人、

授業料半額免除者 (21 年 4 月分～21 年 7 月分) 1 人)